

平成28年度 さくらしんまち保育園分園ぴっころ保育園 事業報告

【総括】

<p>理念について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスに新卒の新入職員を1名ずつ配置した体制で年度をスタートしました。在職職員、新入職員ともに友好的な関係で保育を行ってきました。 ・職員本人の体調不良による休みや職員の子どもの看病による休みが多かったように思われる一年でしたが他の職員たちからは、そのことを責めることなく、心配する声が聞かれ、お互いが相手を労わる気持ちを持っている職員集団と感じました。そういう職員集団だからこそ、厳しい職員体制の中で、皆で助け合いながら保育をおこなって行くことができました。 ・保育士1名、栄養士1名から適応障害という診断がついた職員がいました。保育士は長期の休暇の後、自主退職をしました。欠員ができたため職員配置を見直し職員とともに保育を組み立てました。 栄養士につきましては、さくらしんまち保育園、ふかさわミル保育園の栄養士のリーダーを中心に連携を取って職員交換等をしながら、働きやすい環境づくりを工夫してきてくれました。 ・年度途中で看護師の採用が決まったことで保育士は子どもたちの健康面について安心して保育を行っていました。 ・園庭がある環境を活かして花壇やプランターで子どもたちと職員で花や野菜を栽培して植物への関心や野菜への関心を深めることが出来ました。 ・園舎内にも観葉植物を置いたり、水槽で魚を飼育することで子どもたちが喜んで見て何かを学び取る場になるとともに、送迎時の保護者からも園内に緑が増えたことや生き物がいる環境を喜ぶ声が聞かれました。
<p>保育目標について(保育の内容も含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内は子どもたちが行きたい所へ自由に行き遊ぶことができるように職員全体で見守る共通意識を持ち、日頃から職員間で声を掛け合いながら乳児保育室、幼児保育室、1階フロア、2階フロアにこだわらず子どもが行き来をして興味を持った場所で遊べるようにしてきました。そうすることで異年齢の関わりも自然と生まれていました。 ・乳児クラスはサーキットで日々遊び経験を重ねていき単一学年ではなく異年齢で運動遊びを楽しみ、他児の姿に刺激されて模倣をしようとする姿が生まれていました。 ・子どもたちの声や発信をしっかりと受け止めて保育計画の中に盛り込み子どものやりたい事を具現化してきました。 ・毎月、各学年毎に発達会議と給食会議を行い、担任と主任、給食会議の時は栄養士も参加して子ども一人ひとりの今の姿やその子の成長や課題を確認し合い、援助のヒントにしたり今後の保育計画や環境構成に役立ててきました。 ・園内に観葉植物を置くことで子どもたちが興味を示し、職員も関心を持ち始めて

	<p>2歳児クラスで栽培をしたいと夏野菜を栽培し、それに刺激されて幼児クラスも子どもたちと何の野菜にするか相談をして決めて皆で購入しに行き栽培をして収穫をして給食職員にお願いをして給食に組み込んで食べる経験を持ちました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段から行き慣れた公園へ散歩に出て身体発達を助長したり自然事象への関心を深めたりしてきましたが、近隣に保育園が増えてきたこともあり、公園の人口密度が高くなり、バスを活用して砵公園まで行き、広い場所で走り回って遊ぶ機会も作りました。今後バス散歩を幼児の保育に取り入れていく流れが出来ました。 ・毎月テーマを決めて、絵画デー、リトミックデー、サーキットデーの小行事を毎月全園児が参加出来るように企画して、参加する中で楽しみながら自己表現の場を繰り返し経験して自分を表現できるように環境を用意してきました。
事業計画の到達度	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を表現することや気持ちを発信することが苦手な子たちも職員が信頼関係をしっかりと築くことでその子なりに表現しようとする姿がみられました。 ・認められることで自信がついた子は意欲的に生活しようとするようとしたり色々な活動に積極的に参加する姿がみられたりしました。 ・ぴっころ保育園の職員全員が、子ども一人ひとりの、ありのままの姿をきちんと認めて、しっかりと受容してきて上記のような成長がみられました。
地域・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンターと連絡を取り保育園に関心のある中高生を「なつボラ」で受け入れて、より保育園を知ってもらうとともに次世代の保育士の卵につながるよう職員たちも優しく関わりを持ってくれて、短い期間でしたが、子どもたちと楽しく過ごしてもらいました。 ・5歳児の後半に就学先となる近隣の小学校へ見学に行き小学校を知る機会にするとともに卒園児の小学校での様子を伺う機会にもなりました。 ・保育参加や保育参観を保護者に行ってもらい給食後の時間に面談も設定して担任と一緒に園長や主任も同席して保護者の声を直に聴き取りました。

●明細書類

【行事報告】

4月	ウェルカムパーティー 乳児健診 身体測定 誕生日会 災害訓練	10月	ぴっころさんとあそぼう 乳児健診 身体測定 誕生日会 災害訓練
5月	乳児健診 身体測定 誕生日会 ぴっころさんとランラン	11月	乳児健診 身体測定 誕生日会 災害訓練

	災害訓練		
6月	観劇 乳児健診 身体測定 保護者会 誕生日会 災害訓練	12月	乳児健診 観劇 身体測定 誕生日会 災害訓練
7月	誕生日会 乳児健診 身体測定 流しそうめん 災害訓練	1月	乳児健診 身体測定 誕生日会 ぴっころさんとうたっておどって 災害訓練
8月	乳児健診 身体測定 誕生日会 災害訓練	2月	乳児健診 身体測定 誕生日会 餅つき 災害訓練
9月	災害訓練（震災を考える日） 乳児健診 身体測定 誕生日会	3月	誕生日会 お別れ遠足 乳児健診 身体測定 お別れ会 災害訓練 卒園式

【保育児童数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
1歳	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
2歳	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
3歳	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	102
4歳	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	9	105
5歳	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
計	49	49	49	49	49	49	50	50	50	49	49	49	

【職員研修】

園外研修

研修名・日付	参加者	成果	周知の方法
第1回離乳食講習会 6月1日(水)	栄養士	離乳食についての知識が深まった	報告書を回覧
保育実践研修 ～乳児保育の身体発達 と運動遊びについて～ 6月27日(月)	保育士	保育計画を立てるにあたり、活動内容の 選択肢が増えた	報告書を回覧
障害児保育研修 6月27日(月)	保育士	発達障害の理解がまして在園児への援 助に反映された	報告書を回覧
第41回保育環境セミ ナー 7月11日(月) 7月12日(火)	保育士	子どもの見方や働きかけの理解が高ま り、環境を整える大切さがわかった	報告書を回覧
第42回保育環境セミ ナー 9月5日(月) 9月6日(火)	保育士	子ども一人ひとりへの対応や配慮をよ り意識した保育を行うようになった	報告書を回覧
保育園で知っておきた い感染症対策 9月16日(金)	看護師	保育園からの発信物や掲示物がより細 やかに発信されるようになった。	報告書を回覧
実践保育研修 魅力ある保育士になろ う 10月12日(水)	保育士	自身の保育に反映していた	報告書を回覧
第43回保育環境セミ ナー 10月24日(月) 10月25日(火)	保育士	チーム保育やコーナーの環境の大切さ に気づき保育の質向上につながった	報告書を回覧
乳幼児保育の現場から みた子どもの権利 ～保護者の実態をどう 見ていくか～ 11月24日(月)	保育士	改めて自身の保育を省みて保育や保護 者対応のスキルアップにつながった	報告書を回覧
ストレスチェック実施 者養成講習 11月28日(月)	看護師	職員会議で周知して職員に発信をして 自己チェックをするきっかけになった	報告書を回覧

園内研修

研修名	日付	内容
発達障害を正しく知る	11月9日(水)	新卒の職員が多く在職しているため、発達障害を正しく理解する機会にする
各学年別担任話し合い	毎月1学年毎 1回実施	世田谷ブロック3園の担任の意見交換
エピペン使用方法	1月30日(月)	アナフィラキシーショック時の対応
保育者のメンタルマネジメント～人としての保育実践のために～	1月31日(火)	子どもの姿をきちんととらえて子どもに合わせた保育を行っているのか？子どもの姿に関係なく保育が展開されていないか？

【職員採用・退職】

採 用		退 職	
職種	人数	職種	人数
保育士	4名	保育士	2名
看護師	1名		
異 動 (他園へ)			
保育士	1名		

【契約】

30万円以下			30万円以上		
契約名	内容	金額	契約名	内容	金額

【改修・工事】

改修・工事名	内容	業者	金額

【事故・病気報告】

事故・病気名	内容	対応	結果
咬みつき	21件	クラスで検証後 事故ケガ報告書作成	全職員に周知
打撲	4件	クラスで検証後 事故ケガ報告書作成	全職員に周知
衝突	3件	クラスで検証後 事故ケガ報告書作成	全職員に周知

転倒	2件	クラスで検証後 事故ケガ報告書作成	全職員に周知
その他	誤飲/指はさみ 捻挫/ (各1件)	クラスで検討後 事故ケガ報告書作成	全職員に周知
インフルエンザA型	1月下旬	掲示板に貼り出し	
インフルエンザB型	4月中旬	掲示板に貼り出し	
流行性耳下腺炎	8月下旬	掲示板に貼り出し	

【ご意見受付】

項目	内容	対応	結果
苦情	園児の歌声が耳障りと電話にて直接保育園に苦情が入った。	電話で対応して、歌う際は窓を閉めて歌って欲しいという要求のため、そのように各クラスに周知して音楽的な遊びや、大音量の効果音を鳴らす時も窓を閉めて保育を行った。	その後連絡はありません。
苦情	園庭側2階テラスの手すりにタオルらしきものを干していて景観が悪いと区役所に苦情が入り保育課から保育園に連絡がきた。	その日は、絵画デーで子どもたちが遊び制作した作品を非常階段より東側の手すりに干してあった。連絡後速やかに取り込み、干す作品は非常階段より西側の手すりのみとした。	その後連絡はありません。

【第三者評価】

年度内受審	有 ・ 無	公表方法	
-------	--------------	------	--